

単元名 音楽ランド(1)

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けることができる。
- (2) 旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。
- (3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

04070107_001

【教材名】半月（歌唱） 飛べよつばめ（歌唱） まきばのこうし（歌唱） 札幌の空（歌唱） (P. 63～P. 68)

【準備等】範唱CD

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～4 選曲した曲を自然な歌声で歌う。</p> <p>○ 選択した曲の範唱CDを聴き、学習課題をつかむ。</p> <p>★ のびのびと楽しく歌おう</p> <p>○ 主旋律を歌う。</p> <p>○ 副次的な旋律を歌う。</p> <p>○ 合唱の練習をする。</p> <p>○ 歌詞の内容を生かした歌い方を工夫する。</p> <p>○ 発音や響きに気を付けて歌う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「半月」は韓国の遊び歌であることを伝え、ゆったりと揺れる曲想であることを感じ取らせる。「まきばのこうし」はのどかな曲想を感じ取らせる。「札幌の空」は、札幌の空の美しさを想像しながら聴かせる。 ・ フレーズごとに区切りながら、自然な発声を心掛けて歌うようにさせる。 ・ 合唱は学級の実態に合わせて行う。斉唱でもよい。 ・ 他のパートの声を聴きながら歌うように助言する。 <p>【共通事項】旋律</p> <p>【評】歌詞や曲想を生かして表現する活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 細かいリズムや音程にこだわらず、のびのびと表現させる。 ・ 「半月」は、手遊びを取り入れてもよい。（「みかんの花さく丘」の手遊びのように） ・ 「まきばのこうし」は、主旋律の高い音を歌う時、目を大きく開けさせて歌わせるとよい <ul style="list-style-type: none"> ・ 「札幌の空」は、限りなく高い空をイメージさせ、澄んだ明るい声でのびのびと歌わせていく。 <p>【評】旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲想にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】曲想と旋律など音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の内容とを関わらせながら歌う活動を通して「知識」を評価する。</p> <p>【評】互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う活動を通して「技能」を評価する。</p>

【 備 考 】